

令和6年

目黒区教育委員会

第3回定例会会議録

(令和6年1月23日開催)

### 第3回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和6年1月23日

開催場所 教育委員会室

|      |               |       |
|------|---------------|-------|
| 出席委員 | 教育委員会教育長      | 関根義孝  |
|      | 教育委員会教育長職務代行者 | 川嶋春奈  |
|      | 教育委員会委員       | 片山 寛  |
|      | 教育委員会委員       | 若井田正文 |
|      | 教育委員会委員       | 松村真理子 |

|      |          |       |
|------|----------|-------|
| 出席職員 | 教育次長     | 樫本達司  |
|      | 教育政策課長   | 濱下正樹  |
|      | 学校統合推進課長 | 西原昌典  |
|      | 学校運営課長   | 関 真徳  |
|      | 学校ICT課長  | 藤原康宏  |
|      | 学校施設計画課長 | 岡 英雄  |
|      | 教育指導課長   | 寺尾千英  |
|      | 教育支援課長   | 山内 孝  |
|      | 統括指導主事   | 鈴木将大  |
|      | 統括指導主事   | 石邑由紀子 |
|      | 生涯学習課長   | 斎藤洋介  |
|      | 八雲中央図書館長 | 伊藤信之  |

|    |      |
|----|------|
| 書記 | 小見哲一 |
|    | 矢吹翔太 |

(議事日程)

|       |         |                                        |
|-------|---------|----------------------------------------|
| 日程第 1 | 議案第 1 号 | 令和 6 年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用<br>図書の再採択について |
| 日程第 2 | 報告事項    | 令和 6 年度組織改正（第二次）及び職員数内示に<br>ついて        |
| 日程第 3 | 報告事項    | 令和 5 年度目黒区教育委員会児童生徒表彰につい<br>て          |
| 日程第 4 | 報告事項    | 令和 6 年度教育行政運営方針（素案）について<br>（案）         |
| 日程第 5 | 報告事項    | 令和 5 年度小・中学校卒業式祝辞について                  |
| 日程第 6 | 報告事項    | 令和 5 年度学級閉鎖等の状況（1 月 22 日現在）            |

(午前9時30分開会)

- 教育長            令和6年第3回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、松村委員です。それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1            議案第1号 令和6年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の再採択について)

- 教育指導課長    (資料により説明)  
○教育長            この件についてご質問等がありますか。  
特にないようですので、採決を行います。  
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長            全員賛成ですので、議案第1号は原案どおり可決します。  
次に、日程第2を議題とします。

(日程第2            令和6年度組織改正(第二次)及び職員数内示について(報告事項))

- 教育政策課長    (資料により説明)  
○教育長            この件について、ご質問等がありますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。  
次に、日程第3を議題とします。

(日程第3            令和5年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について(報告事項))

- 教育政策課長    (資料により説明)  
○教育長            この件についてご質問等がありますか。  
○委員            目黒区の児童生徒が全国レベルの大会で優勝されていることについて、凄いいと思いました。他の区でも、同じくらいの人数が表彰されているのでしょうか。そうすると、日本の将来を背負う児童生徒が沢山いることになると思います、感心しています。

○教育政策課長 他区の児童生徒数等に照らして考えると、多くの児童生徒が同じような結果を残し、表彰されていると推察できます。将来を担う児童生徒がこういった努力をした結果に対して、教育委員会として、引き続き表彰を行っていきたいと思います。

○教育長 その他ご質問等がありますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。

(日程第4 令和6年度教育行政運営方針(素案)について(案)(報告事項))

○教育政策課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○委員 用語についての質問です。番号2-2の「不登校等への対応の充実」の部分に「中学校7校において校内別室を整備し、校内別室指導支援員のもと」との文言があります。この「校内別室」という用語が一般的に使われているものなのか教えてください。  
「別室」というと、校内とは言っても、違う場所なのではないかという印象を持ちましたが、いかがでしょうか。

○教育支援課長 「校内別室」ですが、不登校気味や通常の学級に人間関係等の理由から通えない児童生徒について、通常の学級以外の別室を校内に設けて、そこで落ち着いた環境で学校に通っていただくというものです。また、「別室」というのは、自身の所属する学級以外の別室という意味となっています。

○委員 対外的にも意味が通じるということであれば問題無いと思います。

○教育長 確認ですが、新旧対照表の2ページの施策1「知・徳・体を総合的に捉えた資質・能力の育成」の現状・課題に記載されている「自己調整しながら学び深めていく」の言葉の使い方について教えてください。

○教育政策課長 追加した文言です。「学び深めていく」となっていますが、ここは精査して次回しっかりお示ししたいと思います。

○教育長 「学び深めていく」という文言だと、目的語が無く分かりづらいと感じました。文言の検討をお願いします。

その他ご質問等がありますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。  
次に、日程第5を議題とします。

(日程第5 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○統括指導主事 (資料により説明)

○教育長 ただいま統括指導主事から説明がありましたが、前回、皆様からいただいたご意見を踏まえ修正した文案について、重ねてご意見をいただきたいと思います。なお、文案の修正については、次回1月30日を最後としまして、その後区長の確認を経て、決定することといたします。

では、前回と同様に、各委員の皆様にご意見を順番に伺う形でよろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、そのように進めていきます。

○委員 まず小学校ですが、全体的に文量も減り、すっきりしたと思いますが、1点だけ、違和感がありました。

好みの問題だと思いますが⑤の段落に「努力を重ねて、ついに帰国に成功したジョン万次郎」という文言がありますが、この「帰国に成功した」という表現が結構硬い印象を受けました。例えばですが、「ついに帰国することができたジョン万次郎」という言い方のほうが、子どもにとっては聞きやすいのではないかと思います。

次に中学校についてです。まず、③の段落の一行目で「中学校生活の思い出と4月から始まる新しい生活への希望で胸を膨らませている」という表現があります。「希望で胸を膨らませている」という部分はすつと通ると思いますが、「思い出と…希望で胸を膨らませている」という部分については、「思い出」で胸を膨らませるということはあまりないような印象を受けました。

次に、⑤の段落です。「生成AI元年ともいえる年です」というところはそうかと思います。「同時に、仕事の担い手が人間からAIへ急速に代わっていく」という部分は、人間がAIに仕事を奪われるという意味だと思いますが、人間にとって悲観的であり不安を感じるような気がするので、無くても良いのではないかと思います。

また、⑦の段落に「卒業生のみなさんが、勇気をもって新しい

技術を求めながら」という、「技術を求めながら」というのが曖昧な印象を受けました。例えば、「新しい技術を利用しながら」という文言のほうが分かりやすいと思いました。また、「これまで培ってきた人間力を更に磨き上げていく」という、この「人間力」という言葉の意味が曖昧ではないかと思いました。

○委員

私は、前回と比較して非常に聞きやすくて良いと思いました。

また、今他の委員がおっしゃっていたご意見等を踏まえて調整すると、更に良くなるのではないかと思います。

私からは、小学校部分で1点お伝えしたいことがあります。

資料4段落目の「令和5年度は、4年ぶりに演劇鑑賞教室が開催され」という部分も「令和5年度」ではなく、「昨年何月には」等だと、具体的に「ああ、あのときの」と思わせるのではないかと思います。

○委員

中学校の文案ですが、7行目に「はなむけの言葉として、新しい価値を創造する中で大切にしたい」という言い方が難しいのではないかと感じたため、「新しく学んでいく上で」という記載にしたほうが、子どもには分かりやすいのではないかと思います。

小学校の文案は、文章が短くなって良かったと思います。先ほど委員がおっしゃったように、具体的に「昨年は」という文言にしたほうが、子ども達が他の出来事のように感じず、自分達の出来事に感じて良いのではないかと思います。

○委員

小学校については、先ほど他の委員も述べていましたが「ついに帰国に成功したジョン万次郎」という表現が気になりました。

中学校についても、「中学校生活の思い出と」と「新しい技術を求めながら」の部分も、先ほど他の委員が述べられていたのと同じです。

また、7行目の「新しい価値を創造する中で大切にしたい」という部分ですが、「中で」という表現は、「新しい価値を創造する上で」等に変えたほうが良いのではないかと思います。

また、13行目の「近年、有用となるか脅威となるか」という部分ですが、「近年、社会を大きく変える可能性を秘めた」で十分通用すると思うので、削除したほうが良いと思います。

○教育長

4人の委員の方に順番にご意見をいただきましたが、ほかに、つけ加えたいご意見等はございますか。よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長           各委員の皆様から、それぞれご意見がありましたので、それをもとに、次回、再度文案を報告して頂きます。  
次に、日程第6を議題とします。

(日程第6           令和5年度学級閉鎖等の状況(1月22日現在)(報告事項))

- 学校運営課長   (資料により説明)  
○教育長           この件についてご質問等がありますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。
- 教育長           その他なにかありますか。  
特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時18分閉会)